

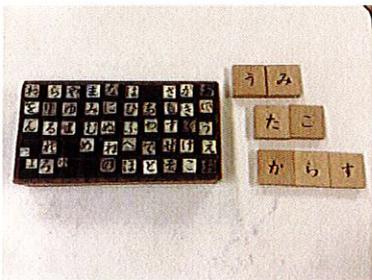
おもちゃ通信【NO.5 ひまわり組（4歳児）】



【レゴブロック】



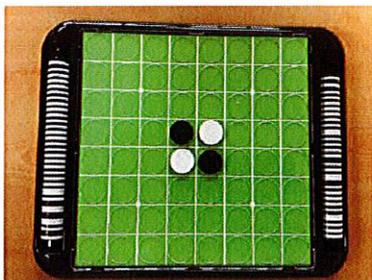
手先を細かく動かし小さいサイズのブロックを組み立てます。頭の中のイメージを形にする創造力や「どうしたらこわれないかな？」などと試行錯誤を通じて構造を学ぶ力が育っています。



【ひらがなスタンプ・ひらがな積み木】



ひらがなに興味が出てきて、知っている文字が増えている時期です。書くことは難しくても、スタンプや積み木を使うことでひらがなを並べて単語を作ったりと楽しみながら文字への関心を高めています。



【オセロ】



黒と白の石を簡単なルールに従って置いたりひっくり返したりして遊ぶゲームです。初めは勝ち負けではなく、ルールを理解して、自分の色の石を置ける場所を考えたり、相手の動きを観察したりしながら遊んでいます。



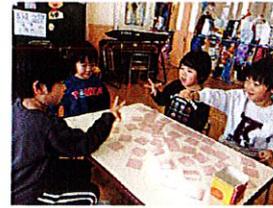
【素材を使った見立て遊び】



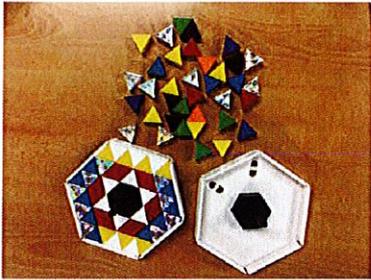
ままごと遊びでは、具体的な食材のイメージがしやすい形のフェルトや毛糸、あえて形を限定しない抽象的なリングテンや梵天など子どもが自ら見立てる楽しさを引き出せる素材を用意しています。



【カードゲーム】



メモリーカード、トランプ、カルタなど色々なカードを使って、友だちと順番にカードを引いたり、絵柄を合わせたりすることで、記憶力やコミュニケーション能力、ルールを守る協調性などが育っています。



【プリズモコマ】



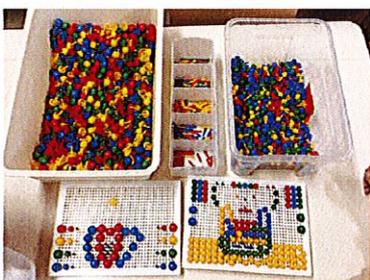
芯がついた六角形のボードの中に小さな三角形のパーツを並べて模様を作ります。出来たコマを回してみることで色や模様の変化を楽しんで遊んでいます。手先を使い、色彩豊かに構成する力も育っています。



【廃材を使った製作遊び】



子どもがイメージするものを自由に素材を選び、形にする遊びです。ハサミやのり、セロテープなどの道具の使い方も学んでいます。市販のおもちゃだけでは養えない想像力や発想力を身に付けられます。



【モザイクステッキ】



大中小の大きさの4色（赤・青・黄・緑）のステッキを指でつまんで、穴の空いたボードに差し込む・抜く動作を繰り返すことで手先の発達を促し、集中力を養います。ものづくりを楽しむ心と達成感を味わっています。

4歳児では、3歳児の時よりも社会性や想像力が豊かに発達し、友達と関わりながら簡単なルールのある遊びやイメージを共有したごっこ遊び、手先を使った構成遊びを好む時期です。玩具と関わるだけでなく、友達が作っている物を真似て自分もやってみようとしたり、やりとりの中で会話を楽しんだり感情をコントロールしたりすることも経験しています。ひまわり組の子ども達が日頃から楽しんでいる玩具を紹介します。